

## ミルカーって何？

### 酪農経営におけるミルクシステム役割を考える

はじめに

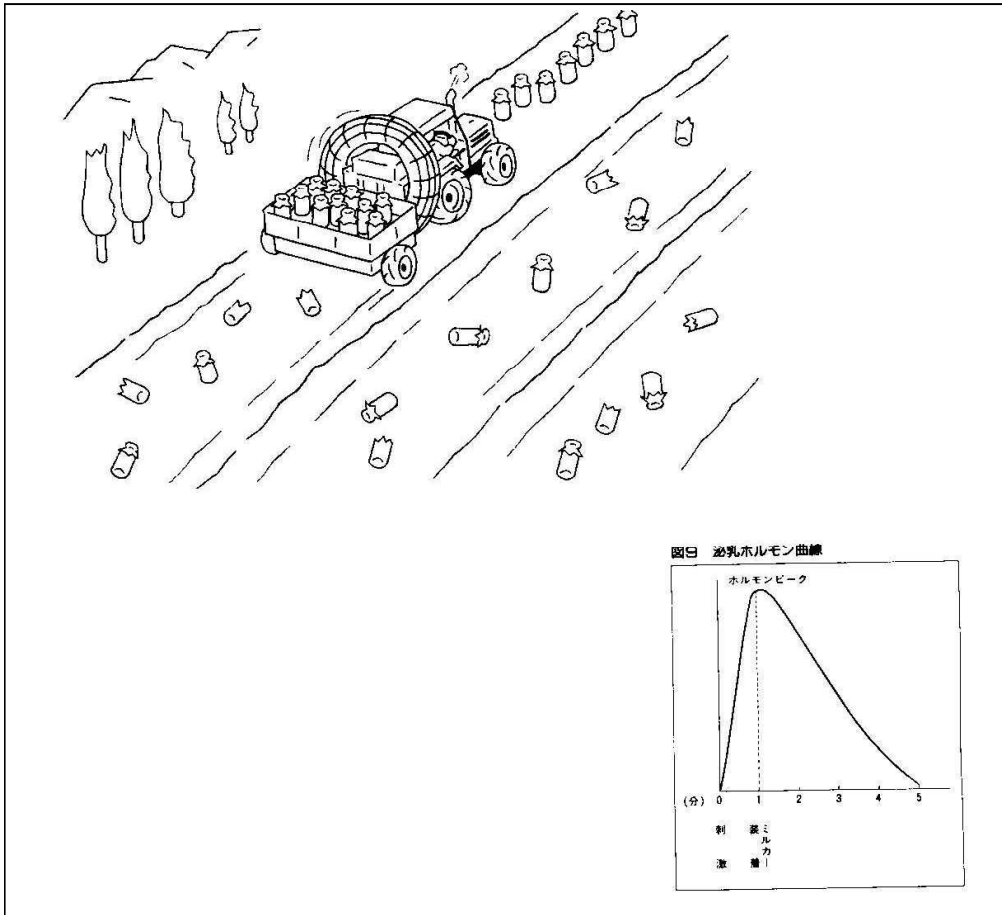
この小冊子では乳房炎に関してミルクシステムがどれくらいの役割を担っているかを簡単に質問形式で書いたつもりです。ミルクシステムに関しては我々獣医師を始め、酪農家の方々も毎日使う機械の割には良く理解できていませんし、そして機械に詳しいディーラーの方々も残念ながら乳房炎に対する理解がありません。乳房炎撲滅に対しては、3者が一致協力して行かねば一向に減りません。そのために中を取り持つ酪農家の皆さんが少しでもミルカーに関心を持って頂きたく、簡単にまとめてみました。本誌の連載記事も含め、今一度関心を持って読み返してみてください。

各項目の右肩に付いています「乳房炎マーク」は筆者の判断で、乳房炎に関する割合が高い項目に、割合に合わせて「マーク」を付けてみました。乳房炎対策の参考にして下さい。

## 1 酪農経営におけるミルクカーの役割は何？

酪農経営に於いてミルクシステムは収穫機（ハーベスター）に相当します。このハーベスターの能力により収穫量が制約（オキシトシンが出ている間に搾りきれない事）されたり、商品とならないはねもの（潜在性乳房炎）が増えたりします。

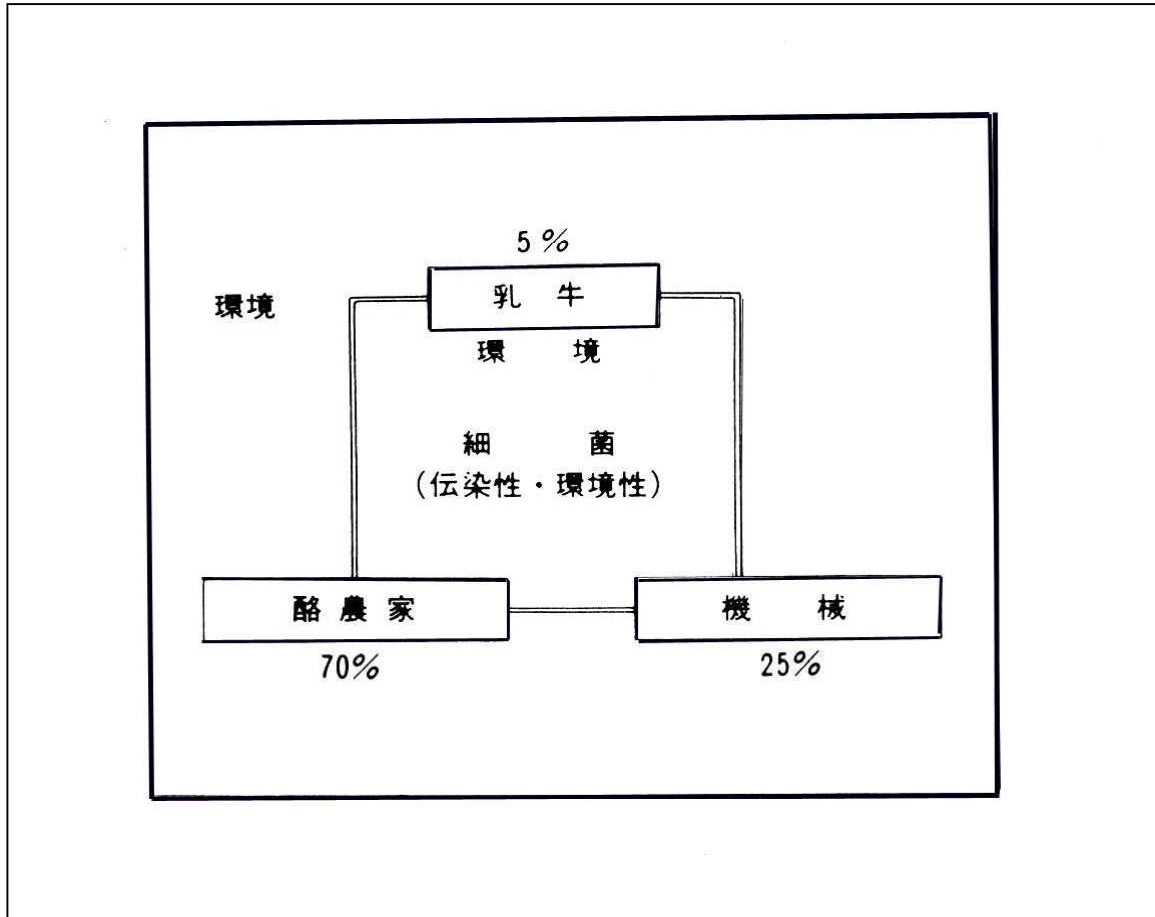
基準 乳量の多い牛でも約5分間で搾りきる能力が必要です。（オキシトシン参考）  
メンテナンス 定期的に点検整備を受ける事。



## 2 ミルカーと乳房炎の関係はあるのですか？

乳房炎に関してミルカーが原因となる割合は25%くらいと言われています。ハーベスター（ミルカー）の運転手が上手であれば、古い機械でも十分に収穫ができるでしょうし、新しい機械であっても運転手の腕が悪いと充分には収穫できません。従って乳房炎に関しては酪農家の腕が（搾乳方法、環境改善など）一番重要なポイントになります。酪農家の腕と機械（ミルカー）が一致して初めて最大の収穫が得られます。

基準 搾乳手順をもう一度見直してみる。（乳房炎シリーズN°1参考）  
メンテナンス いつもきちんと動いている保証はない。整備が大事。



マシンストリップングが体細胞数を高める



ライナーの捻れ装着 脈動チューブが潰れている

